



平成 25 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 S E M I T E C 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 会 長 石 塚 二 朗
(コード番号：6626)
問合せ先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 緑 川 晃
(TEL. 03-3621-1155)

業績予想の修正並びに為替差益（連結）及び固定資産の減損損失（連結・個別）、貸倒引当金
繰入額（個別）と関係会社株式評価損（個別）計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期通期の連結業績予想の修正について下記
のとおりお知らせいたします。また、平成 25 年 3 月期において為替差益(連結)の計上、固定資産の減損損失計上(連結・個別)
及び貸倒引当金繰入額(個別)、関係会社株式評価損(個別)の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

(連 結)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	10,264	31	27	△236	△83 円 48 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	9,803	3	163	△692	△245 円 11 銭
増 減 額 (B - A)	△461	△28	135	△456	—
増 減 率 (%)	△4.4%	△89.2%	487.0%	—	—
前 期 (平 成 24 年 3 月 期) 実 績	9,345	△213	△291	△684	△249 円 86 銭

(業績修正の理由)

売上高は、自動車関連の販売は増加しましたが、欧州市場の低迷により情報機器及び産業機器関連の販売が減少したこと
により、9,803 百万円となる見込であります。

営業利益は、中国の人件費高騰により売上原価を圧迫しましたが、販売費及び一般管理費の削減を行ったことにより、3
百万円となる見込みであります。

経常利益は、当第 3 四半期連結会計期間より円安方向に進んだことにより為替差益の計上が見込まれるため、163 百万円と
なる見込みであります。

当期純利益は、当社及び当社関係会社の固定資産の一部について減損損失の計上が見込まれるため、△692 百万円となる見
込みであります。

このため平成 24 年 5 月 15 日に公表しました平成 25 年 3 月期の連結業績予想を、上記の通り修正いたします。

2. 為替差益の計上について（連結）

当第 3 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）において、為替差益 50 百万円計上しましたが、為
替相場の変動により、当連結会計年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）においては、為替差益 132 百万円を営業外
収益に計上する見込みであります。

3. 減損損失の計上について（連結・個別）

当社及び当社関係会社が所有する固定資産の一部について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として 653 百万円（内、当社計上額 291 百万円）を特別損失に計上する見込みであります。

4. 貸倒引当金繰入額（個別）について

当社個別決算において、当社関係会社に対する金銭債権の一部について将来の回収可能性を検討した結果、当該債権の回収見込みが不確定であるため、貸倒引当金繰入額 90 百万円を計上（販売費及び一般管理費 16 百万円、営業外費用 73 百万円）する見込みであります。なお、貸倒引当金繰入額については、個別決算において計上しますが、連結決算においては影響ありません。

5. 関係会社株式評価損（個別）について

当社個別決算において、当社が保有する関係会社株式の実質価額が著しく下落したため、減損処理による関係会社株式評価損 449 百万円を特別損失に計上する見込みであります。なお、関係会社株式の評価損については、個別決算において計上しますが、連結決算においては影響ありません。

（注）上記に記載した予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって記載の予想と異なる可能性があります。

以 上